



1歳半健診(フッ化物塗布)

きくち

題字/泗水西小学校6年 大久保 未来 さん

議会だより

12月定例会 Contents

定例会審議結果	2
委員会報告	3~7
12人が市政を問う!	8~13
中学生が議会を傍聴しました	19

この定例会では、令和5年度一般会計補正予算、条例の制定など66議案が提案されたほか、議員提出議案1件、陳情1件があり、慎重に審議しました。また、報告が3件ありました。

審議の結果、原案のとおり可決・同意・採択しました。

開催日：11月28日（火）～12月21日（木）

主なものは以下のとおりです。

主な付議事件一覧及び審議結果表

※ 賛否の分かれた議案のみを掲載しています。

議案番号	議案名	結果
議案第78号	菊池市長等の給与及び旅費に関する条例並びに菊池市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第79号	菊池市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第85号	令和5年度菊池市一般会計補正予算(第9号)	原案可決
議案第110号	公の施設の指定管理者の指定について(七城町特産品センター)	原案可決
議案第115号	公の施設の指定管理者の指定について(菊池市リバーサイドパーク)	原案可決
議案第139号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	原案同意

賛否表

○は賛成 ●は反対 /は議長職時

※ 下記以外の議案は、全会一致で可決しました。

議案	結果	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
		賛成	反対	本藤	安武	稲継	古田	島	大山	田中	福島	緒方	後藤	平	東	水	猿	荒	工	二ノ	泉	木	山
				潔	夫	智	浩	春	宝	教	英	哲	直	奈	上	渡	木	藤	文	田	栄	雄	義
議案第78号	可決	11	8	○	○	●	●	○	●	○	●	○	○	○	●	/	○	●	○	●	○	●	○
議案第79号	可決	17	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第85号	可決	14	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第110号	可決	14	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第115号	可決	14	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第139号	同意	18	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

総務文教常任委員会報告

委員長／後藤 英夫 副委員長／東 奈津子 委員／安武 睦夫 稲継 智康 島 春代 荒木 崇之 山瀬 義也

可決

【議案第80号】

菊池市消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

内容 市消防団の団員定数を地域の情勢を踏まえ適正な団員定数となるよう見直すもの。

質疑 今回、現在の実団員数より減らす理由は。

答弁 安易な定数削減でなく、各方面隊・分団・部・班で、火災水害等をはじめ、所管地域の遵守範囲等、実情に応じ、必要人員を精査し、慎重に検討されている。

質疑 団員161人の削減は、初期消火で自主防災組織の役割が増えると思うが、消防団との連携は。

質疑 現在、自主防災組織での消火活動は行っていないが、大規模災害の際は、自主防災組織の役割は大きいと考えている。

議員質問

消防団員の数が減ることは、今後の防災で心配だが、人口減少を踏まえると致し方ない。

ただ、消防団員の負担の大きかった操法大会を2年に1回にする等、自分たちで団員の確保に向けた見直しをされている。

今後、消防団員が活動しやすいように用具の充実を図っていただきたい。

議員質問

消防団と自主防災組織との連携をどう図っていくかが課題だ。



採択

【陳情第3号】

防災無線戸別受信機(デジタル)の設置に関する陳情書

内容

陳情項目は、
①運用をなるべく早く整備すること。
②配付は、「75歳以上の世帯」等の条件を設けず、希望世帯に配布すること。

③泗水地区に貸与されている戸別受信機(アナログ型)の運用期限や修理状況等、今後の方向性を泗水地区区長会に説明すること。

執行部説明 防災無線戸別受信機デジタル型は、令和6年度に整備するよう進めており、機器の調達時期までに対象世帯の意向調査を済ませたい。

また、配付は携帯電話やスマートフォン等の利用が低いと考えられる75歳以上のみの世帯としている。
アナログ型機器の使用期限は、業者によると、設けていないとのことだが、メーカー

の製造中止により、修理ができない状態であり、スマートフォンへのきくち防災行政ナビや安心安全メールのインストール等をお願いしている。

議員質問

今回は泗水地区に限定された陳情だが、泗水地区だけに限らず、市全域でも同じことが言え、ぜひ市全域で意向調査を行い、ニーズを把握した上で事業展開してほしい。

議員質問

泗水地区では、平成7年に戸別受信機を3千件に配つてあるが、今の状況や運用期限がまだ住民に説明されていない。

できれば先に、意向調査してほしい。そうすることで、方向性が定まってくると思う。

福祉厚生常任委員会報告

委員長／緒方 哲郎 副委員長／泉田 栄一郎 委員／大山 宝治 平 直樹 工藤 圭一郎 木下 雄二

可決

公の施設の指定管理者の指定について

〔議案第97号・第98号・第99号・第100号・第101号〕

菊池小学校校区児童育成クラブ、泗水東小学校校区放課後児童クラブ、七城町放課後児童健全育成クラブ、隈府小学校校区児童育成クラブ、花房小学校校区児童育成クラブ

内容 児童育成クラブ5か所は、現在の指定管理者に継続して指定を行うもの。

質疑 前回と同じ指定管理者だが、他に応募はなかったのか。

答 弁 公の施設は、公募が原則だが、この5施設は、保護者会等が地域に密着した運営をされており、公募していない。

質疑 保護者会での運営が難しくなったときに公募をかけても間に合わないのではないのか。

今の時点から公募をしていく必要はないのか。

答 弁 各クラブの運営や



はーと・きっず(花房小児童育成クラブ)
親子レク(アイスクリームパフェづくり)

活動状況を注視し、指定管理者と連携を取りながら、公募を視野に入れ、今後5年間の指定期間の中で決定していきたい。

意見 地域の団体が運営を行うのはよいことだが、公募によって切磋琢磨することも必要ではないか。

経済建設常任委員会報告

委員長／田中 教之 副委員長／猿渡 美智子 委員／本藤 潔 古田 浩敏 福島 英徳 二ノ文 伸元

可決

公の施設の指定管理者の指定について

〔議案第111号・第112号〕〔議案第110号・第113号〕

(泗水町特産物センター・泗水町第二特産物センター)
(七城町特産物センター・菊池市七城ふれあい交流館)

内容 地方自治法の規定により議会の議決を経る必要があるもの。

質疑 泗水町特産物センターと泗水町第二特産物センターに分けて、指定管理する理由は。

答 弁 施設の内容が異なっており、それぞれで指定管理を行っている。



泗水町特産物センター(左奥)
泗水町第二特産物センター(前)

質疑 七城ふれあい交流館も七城町特産物センター内にあり、指定管理が別と

いうのは難しい。次回からは、一緒にした形が良いと思うが、どうか。

答 弁 2つの施設の募集は、同じ要項で行っている。また、条例が異なっており、それぞれで指定する必要がある。



七城ふれあい交流館(左)
七城町特産物センター(奥)

議員質問 次回からは、条例の改正等を行い、一括管理のような形にしたほうが効率的で、金額的にも安くなると考えられるので、検討するよつに。

予算決算常任委員会報告

委員長／二ノ文 伸元 副委員長／福島 英徳

分科会長／(総務文教)後藤 英夫 (福祉厚生)緒方 哲郎 (経済建設)田中 教之 委員／議長を除く14名

可決

【議案第90号】

令和5年度一般会計補正予算

体育施設整備事業

1227万9000円

内容 七城体育館の照明に不具合があり、電球交換では改善できず、老朽化に伴う故障と漏電も併発していたため、年度内に修繕を完了できないよう、来年度予定していたLED化を行うもの。



右半面のみ点灯となった七城体育館

質疑 体育施設のLED化の今後の整備計画は。

答 弁 計画的にLEDへ更新するようにしており、まずは、七城、泗水、旭志の体育館を令和7年度までに施工する予定であり、グラウンドのLED化は、今後、計画を立てていきたい。

意見 LED化は、水俣条約に基づき、国の地球温暖化対策計画で、2030年度までに100%とする計画であり、地方自治体にも求められている。

LED化には、かなりの財源負担等がかかることから、リース事業により単年度の負担を減らして、電気代を縮減した事例もある。

今後、LED化を進めるにあたっては、公募型プロポーザルであれば、様々な業者からいろんな提案があると思うので、財源負担が掛からない手法で進めてほしい。

移住推進事業

2万8千円

内容 空き家バンクへ登録される前の空き家物件の調査費で、空き家5件、空き地2件の状態調査を行うもの。

質疑 今、空き家バンクの登録件数は何件なのか。

答 弁 登録件数は10件で、空き家が7件、空き地が3件である。

質疑 空き家を活用していることは、とても重要だと思うが、空き家が実際に活用された実績は、どれくらいあるのか。

答 弁 今年の約定件数は4件で、賃貸が1件、売買が3件の実績となっている。

医療助成事業

1502万4千円

内容 新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行し、医療費の自己負担が発生し予算の不足が見込まれるため増額するもの。

また、歳入の子ども医療費助成事業補助金は、県の制度の拡充により増額するもの。



医療機関を受診する高校生(受診に必要なもの)
・マイナ保険証、または健康保険証
・子ども医療費受給者証

予 算 決 算 常 任 委 員 会 報 告

定 例 会

委員会・分科会

一般質問

研修・視察等

イベント等

質疑 県が1/2補助するとのことだが、約1500万円の歳出の増額に対して、約476万円しか歳入が増額されないのは、なぜか。

答 弁 県は、就学前の子ども の通院、及び中学生までの入院 に対して1/2の補助を行うが、本 市では、高校生までの医療費助 成を行っており、不足する分は 一般財源となる。

新型コロナウイルス感染症 対策事業

2987万2000円

内 容 中小企業・小規模事業 者エネルギー価格高騰対策補助 金の額が確定したので、予算を 減額し、新たなエネルギー対策 に対する支援として予算を増額 するもの。



質疑 あと3か月少々しかない状況で、きちんと執行できるのか。

答 弁 今回は、申請確認後、 補助要件に該当している事業者 に対して、随時、交付決定・確 定、支払いを行うので、年度内 完了できると考えている。

質疑 要件が大分下がり、医 療・介護関係にも幅を広げると のことだが、知らなかった等の 声が出ないよう周知が肝要では ないか。

答 弁 市の広報紙やホーム ページ、安心メール、商工会会 員には商工会からチラシの配 布、SNSでの周知を行う等の 対応をとっていききたい。

意見 忙しい医療・介護の分 野の方々がこの情報にたどり着 けるのか、非常に心配だ。
きちんと情報が行き届くよ う、健康福祉部とも連携を取り ながら、情報伝達が行き届くよ う努力していただきたい。

〔債務負担行為〕

ごみ収集運搬業務(R6)

2億1531万2000円

内 容 新年度当初から業務を 開始する必要があるため、債務 負担行為を設定するもの。

質疑 ごみは人口の増減に伴 い増減すると思うが、人口が減 少していても経費が変わらない のは、なぜか。

答 弁 委託料の算定について は、ごみの量や人件費、車両の 経費等も関係しているためであ る。



〔債務負担行為〕

重層的支援体制整備事業 業務(R6)

883万3000円

内 容 各課で対応している、 介護・障がい・子育て・生活困 窮等の相談は、複合化したケー スが多くあり、問題解決が困難 である。

相談をワンストップで行い、 包括的な支援体制において対応 するため、専門員1名を配置し 業務委託するもの。

質疑 人件費等の積算の内訳 は、どうなっているのか。

答 弁 人件費は650万円、 その他燃料費とコピー代等の事 務経費である。

質疑 人件費は650万円と のことだが、有する資格は決 まっているのか。

答 弁 社会福祉士等が相談業 務を行う。

予 算 決 算 常 任 委 員 会 報 告

可決
 〔議案第90号〕
**令和5年度水道
 事業会計補正予算**

〔債務負担行為〕
水質検査業務(R6)
 1085万3000円

内容 新年度当初から業務を開始する必要があるため、債務負担行為を設定するもの。

質疑 有機フッ素化合物の水質検査は、今年3か所を検査して、残りは来年度とのことだったが、その分はこの債務負担行為には入っていないということか。



水質検査

答 弁 残りの12か所分は、令和6年度に行えるよう、この債務負担行為の中には12か所分の有機フッ素化合物検査を含んだところで、債務負担額を計上している。

意見 残りの12か所分も、前倒して、年度内に行ったほうが良い。ぜひとも前向きに検討いただきたい。

可決
 〔議案第141号〕
**令和5年度
 一般会計補正予算**

物価高騰対応重点支援事業
 4億4487万7000円

内容 エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている住民税非課税世帯等への支援のため、1世帯当たり7万円を支給するもので、財源は全額国庫補助金である。

質疑 今まで非課税世帯に対し支給した同様の給付金の総額はいくらか。

答 弁 令和3年度から合計25万円である。

質疑 今回の給付金は現金で支給しなければならぬというルールがあるのか。

以前の分科会で、国からの給付金の支給があった場合、半額程度をめぐるん券で支給するという意見を伝えたが、なぜ今回も全額現金で支給するのか。



市内共通商品券「めぐるん券」

答 弁 国の補正予算が11月に成立し、年内に支給するようにとのことだが、時間的に難しい状況である。

また、速やかに支給するということを中心としているため、全額現金での支給としている。

**議会を
 インターネットで!**

傍聴においでいただけない場合でも、いつでもインターネットで本会議の録画映像をご覧いただけます。菊池市のホームページより、菊池市議会をクリックし、議会中継をクリックしていただくとも議録画映像を見ることが出来ます。使い方の説明も掲載しますのでご参照ください。

■ 議会事務局
 TEL 25-2325



菊池市議会HP
 議会中継

菊池市議会 議会映像 検索

定例会
 委員会・分科会
 一般質問
 研修・視察等
 イベント等



泉田 栄一朗 議員

Q 聴覚等に障がいのある方の、市役所でのサポート体制は。

A 月2回、午前中、本庁舎に手話通訳者1名を配置している。



毎月第2・第4木曜日の午前中は、市役所本庁舎ロビー(総合案内横)に手話通訳者が配置されています。



Q 手話は日本語や外国語同様、言語として国際的に認知されたものである。本市に広く押し進めるために、手話言語条例を作る考えはあるか。

A 県や他市町村の状況を把握、精査しながら、条例制定に向けて前向きに検討していきたい。

外国人との共生社会

Q 外国人との共生社会について。本市は外国人が1000人以上在住している。

A 庁舎に外国人相談窓口(翻訳機の整備やコールセンターにつなぐ等)を開設する考えはあるか。

A 持参されたスマートフォンや、窓口で用意している翻訳機で、現状では対応できている。そのため、日本語が話せない外国人が1人で来庁された場合の対応としては、今後も引き続き翻訳アプリ等を使用し、丁寧な対応を続けていきたい。

ただし、今後、外国人の総数、及び相談件数が増加し続け、対応が難しくなってきた場合には、必要に応じて対応を検討していきたい。

Q 本市の中学校部活動に対する方向性は。

A R6年度に外部検討委員会を立ち上げ、方向性を整理したい。



稲継 智康 議員



Q 部活動を行っている生徒数が減っており、団体スポーツ等はチームとして成り立たない学校も出ている。

A また、新聞報道等では「部活動の地域移行」の報道も多く見られることから、本市として今後の部活動に対する検討委員会を設置する考えは。

A 休日の部活動の地域移行の方向性は、外部の検討委員会等を立ち上げ、意見をいただきながら基本方針の案を整理し、最終的には教育委員会で決定したい。外部検討委員会の設立は、令和6年度と考えている。

本市の中小企業振興対策

Q TSMCの経済効果が本市にも大きく影響してくると思われるが、本市の中小企業に対しての振興対策としての考えは。

A 菊池市中小企業振興基本条例に基づき、従業員等が常駐していない事業所等を除いた、市内に事務所または事業所を有する業者を市外業者より優先して選定している。

電気料・燃料費の高騰

最低賃金 UP

原材料の値上がり



Q 道の駅を活用し発展拡充させるにあたっての課題は。

A 子育て機能の拡充や定住化の促進に繋げることと考える。



島 春代 議員



Q 物産館を有した道の駅は、観光と交流の拠点、さらに防災の拠点となっているが、今後は、あらゆる世代が利用できる施設としてさらに進化させる取り組みが必要と考えるがどうか。

A 今後も地域振興・観光交流の拠点施設として、多くの人に訪れていただけるよう、各物産館を管理運営する指定管理者と連携を図っていきたい。

運転免許証
自主返納者への支援

Q 返納者への支援策として、べんりカー、あいのりタクシー、共通乗車チケット代1000円分を交付しているが、他自治体に比べて少ない。利用促進を考え、チケット代を上げてみてはどうか。

A 他市町村の支援内容や、支援状況を参考にして、今後調査研究したい。



養生市場(奥)、防災トイレ(右)

Q 度重なる協定違反を市が繰り返す原因は何か。

A 引継ぎ不足により課職員の認識が大変不足していた。



荒木 崇之 議員



Q 昨年、菊池市が菊池川漁協に対して度重なる協定書違反を起こしたことで、竜門ダムでのボートの大会や練習ができなくなった。市長は、「何の変更もなく再度、協定書を結んだ」と言われたが、現在冬場(11月1日から3月31日)に湖面利用ができないのはなぜか？

A 11月以降の練習は、当事者同士が合意に達すれば可能であると考えており、そのための協議もこれまで行ってきている。

この協議を進めるには、組合側から、配慮事項をきちんと明示するよう宿題が出ており、今、市にできるのか

検討を進めているが、すぐに具体化できることも限らないため、引き続き協議を進めていきたい。

角膜移植提供の推進

Q 角膜提供者(ドナー)の登録推進のため、広報にパンフレットの掲載と実際に角膜提供された方の掲載をする考えはあるか？

A 広報誌等への住所、氏名の掲載については、現在のところは特に考えていないが、しっかり啓発は行っていきたい。



角膜移植は人から人への光の架け橋



福島 英徳 議員



Q 観光戦略会議における、観光戦略の骨子を示せ。

A 本市の魅力を中心に発信しながら認知度向上に繋げていく。

Q 菊池ファンクラブの現在の会員数と、今後の目標数は。

A 令和5年度の会員の加入目標は2000人、令和5年10月末現在の会員数は4616人である。

Q 菊池の魅力は、歴史、温泉、溪谷に加えて、豊富な農産物が挙げられるが、観光の核が必要だと思う。それに対する考えは。

A 溪谷に代表される自然、菊池一族の歴史・文化、こうしたものが織りなす「癒しの里山」の暮らしを柱に、ぶれずにやっていきたい。

GIGAスクール構想

Q GIGAスクール構想では、各学校や学級が教師のICTスキルの質によって

格差が生じていないか等、3年を経過した中で分かってきたことは多いと思う。

A そこで現状と課題は何か、また今後の取組みを示せ。

A ICT端末の活用は、さらなる高みを目指した技術の習得を目指し、先進地を視察しながら、さらに効果的な活用を学んでいきたい。

今後も、タブレットを使うことが目的ではなく、児童生徒の主体的な学びが展開できるよう取り組んでいきたい。



タブレットを活用した学習(旭志中)

Q 選挙での、障がい者への合理的配慮は。

A 選挙権は大切な権利、投票の機会均等は重要である。



猿渡 美智子 議員



Q 視覚障がい者への配慮の内容は。

A 従来からの点字投票、代理投票は、公職選挙法に基づき適正に行っている。

Q 統一地方選後の調査では、候補者情報の入手先で一番多かったのは選挙公報だった。

視覚障がい者の方には選挙公報に代わる物が必要。

本市では、広報や議会だよりを音声ボランティアの皆さんが、音声CDにして

届けておられる。

市長選や市議選でも、候補者情報を音声CDで届けられないか。

A 県選管は、啓発事業として、視覚障がい者向けに点字のお知らせ版や候補者情報を備え、また選挙公報に代わる音声CDの配布を行っている。本市での市長選や市議選での視覚障がい者への情報提供の配慮については、今後、市選管で議論すべきと考えている。

里親制度

Q 本市では、周知啓発が不足していると感じる。今後どのように取り組むか。

A 里親支援を行う機関等と連携しながら、関係団体の研修会等に県の出前講座を取り入れる等、さらに周知・啓発に取り組んでいきたい。



ひこばえ輪々の会による音声ボランティア

Q TSMC進出で減少する優良農地確保の対応状況は。

A 県と連携を図り優良農地の確保に向けて取り組みたい。



安武 睦夫 議員



Q 農業機械の大型化とTSMC進出に伴い減少する優良農地の確保、更には農地集積および農地マッチングは喫緊の課題だが、優良農地確保のための畦畔除去や進入路拡幅等、2次農地整備の考えは。

A 県において、賃借可能な代替農地の把握、簡易な農地の基盤整備等が実施され、本市は代替農地のマッチングを行う役割である。今後、県と連携を図り、優良農地の確保に取り組みたい。

施設維持のためのネーミング・ライツ事業(命名権)

Q 公共施設維持費



大型化する農業用機械(コーンハーベスター)

対策として、施設愛称の命名権であるネーミング・ライツ事業を導入する考えは。

A 本市に相応しい施設があるかも含め、今後、メリットとデメリットを整理し、導入すべきと判断できる場合は、具体的に検討を進めたい。

農業における女性の活躍推進

Q 農業における女性の活躍推進として、男女別トイレ等、働きやすい環境整備に向けた助成制度を構築する考えは。

A 要望があった農業者に対しては、国の制度の紹介等、ぜひ積極的にやりたい。

その他の質問

- ・ 独居高齢者等のごみ出しサポート

Q 「こども家庭センター」の設置の予定はあるか。

A 令和6年4月に設置を予定している。



本藤 潔 議員



Q 本市での児童虐待相談件数が平成28年度の28人から令和4年度では195人と約7倍に急増している。

A 児童虐待防止推進のためにスタッフ増員等の体制強化の考えは。

A 相談の内容も複雑深刻化してきており、支援や相談体制を強化するために、専門職の増員を検討している。



市の業務と人員配置

Q 業務量等によって仕事に支障をきたすケースが見受けられるが、デジタル化等による業務効率化の向上と業務内容に合わせた人員配置の見直しは。

A 業務の効率化と同時に、質の向上を図っていききたいと思っている。

また、それぞれの部署の状況を確認しながら、市民のニーズや業務量に応じた適正な職員配置に努めていきたい。

その他の質問

- ・ 竜門ダム送水管による用水の供給
- ・ 公共施設におけるドローンの利用



緒方 哲郎 議員



Q 主な健診(検診)の受診率の現状は。

A 大腸がん検診11.6%、乳がん検診19.4%、特定健診36.8%。



健診(菊池養生園)

Q 本市の健診受診率の課題と健診受診率向上に向けた取り組みは。

A 健診や通院もない方、健康への関心のない方へのアプローチが課題であり、5つのタイプに分けて、受診勧奨通知を行っている他、インターネットによる健診受付も行っている。

また、通院中で健診を受ける必要がないと思われることも課題であり、特定健診では、通院先での

診療による検査結果を市へ提供していただき、みなし健診を実施している。

Q 受診率向上に向けた条例制定の考えは。

A 本市では、「健康づくり都市」宣言等、「健康推進条例」と相違ないことを行っていることから、条例化は、今後、先進自治体の例を調査研究していきたい。

市道小野崎森北線

Q 市道小野崎森北線に面した、創設換地(花房中部二期地区畑地帯総合整備事業)部分の今後の利活用の考えは。

A 草刈り等の維持管理を行ってきた。まずは、舗装打ち換えを優先して行ってきたい。



東 奈津子 議員



Q 学校トイレに生理用品の配備を進めていくべきではないか。

A 養護教諭部会の協議を基に、各学校の判断で対応いただきたい。



小中学校トイレに生理用品を(写真はイメージです。)

Q 近隣の市町村をはじめ全国でもトイレに設置するということが流れになっている。国も保健室での配備以外にも工夫するようにと通達を出している。菊池市でも全ての学校トイレでの配備を進めていくべきではないか。

A 今後も児童生徒に寄り添った対応を行うため、養護教諭部会での協議を基に、学校の実態に応じた対応をしていきたい。今後も引き続き、養護教諭との意見交換を続けていきたい。

介護保険制度
Q 介護保険事業特別会計基金の残高は4億円近くとなっている。来年度見直しが行われる第9期の保険料に関しては、基金も活用して引き下げるべきではないか。

A 令和6年度からの3か年において、適正な介護サービスが提供できるよう、介護給付費や地域支援事業費の見込み、高齢者人口の推移等を基に、介護給付費準備基金の状況を含め総合的に判断しながら、現在、算定を行っている。

その他の質問

・産後ケア事業

Q 隈府中央線と今村橋の連結計画については。

A 様々な方々が関与し、努力を積み重ねてきた事案である。



二ノ文 伸元 議員



(采町交差点から市役所方向へ)
隈府中央線

Q 隈府中央線計画からの進捗状況、及び今村橋との連結における地権者との交渉の進捗状況は。

A 市道亘深川線から市道隈府中央線までの約280メートルの区間は、道路改良計画に基づき用地交渉を進めている状況である。

また、現在の用地の取得状況は、5筆の買収が済んでおり、残り16筆、10人

が未買収という状況である。

Q 市長自ら交渉する考えと、着工から20年を経過した計画の凍結はあるのか。

A 市長の関与については、効果的な状況の中で、かつ必要性が生まれたときに、適切に判断し対応していきたい。

また、凍結については、これまでたくさんの方々のご理解等もあったわけであり、様々な点を検討していく必要がある。近年では、TSMCを契機とし、大きく流れが変わってきており、近い将来の交通の流れをよく見極め、適切な時期に適切に判断していくことが必要と考えている。

Q 菊池市公共施設等総合管理計画の見直しの必要性は。

A 示している推進スケジュールは、あくまでもめどである。



木下 雄二 議員



泊間支館
(指定緊急避難場所)



重味グラウンド
(ドクターヘリ発着場)

Q 菊池市公共施設等総合管理計画は、市民に選択権を与えない意見を一方的に押し付けている状況だが、見直しの考えは。

A スケジュールは、あくまでもめどであり、今後の合意形成の状況に応じ、適切に進めていきたい。

免許証返納者への支援

Q 高齢ドライバーの運転免許証自主返納者に対する支援が他自治体に比べて極端に少ない状況であるが拡充する考えは。

A 他市町村の支援内容と支援状況も参考にしながら、今後、十

分に調査研究したい。

竜門ダムの未利用水のTSMC等の活用

Q 竜門ダムの未利用水のTSMC等、半導体関連企業への活用については、基本は農業用水であるが、関係自治体との連携によって市の活性化に結びつく対応が必要だが現状は。

A 水源涵養は、竜門ダムの給水の可能性調査が続いている状況であり、結論を待っている状況である。

また、活性化の件は、日本ダムアワードでイベント賞を受賞する等、官民連携による活性化の効果がでており、続けていきたいと考えている。

その他の質問

- ・市営住宅の指定管理
- ・防災士育成事業
- ・国道387号沿いの太陽光発電事業

総務文教常任委員会 研修報告

■日程 令和5年10月31日～11月2日
■場所 山口県美祿市、光市、周南市

【山口県美祿市】部活動の地域移行

生徒の多様なニーズ、教職員の働き方改革等から、部活動の地域移行に取り組み、どの学校へ行っても10種類のクラブ活動の選択肢ができたとのことです。

また、生涯学習の視点による地域のスポーツ・文化活動の創出を行い、多様な受け皿を作られ、子どもたちの興味関心や多様なニーズに応じた活動機会を確保することで、自己実現を応援していく姿勢は、大いに参考とすることができました。



【山口県光市】ペット同行避難所の試行実施
平成30年の豪雨災害後に、市民からペットがいるので避難を躊躇したとの意見があり、より多くの市民に安心して避難いただけるよう検討し、実施したとのことです。

ペットは家族の一員という意識が浸透する中、山口県内でのペット同行避難所の設置は光市のみとのことで、より市民に寄り添った先進的な取り組みが印象に残りました。



ペット同行避難所

【山口県周南市】公共施設再配置の取り組み
平成25年11月に公共施設白書を作成(県内初)し、平成26年3月に基本方針、8月に再配置計画を策定し、40年間で30%のコスト縮減を目標に取り組み、令和4年に再配置計画を改訂し、継続されています。

課題としては、公共施設再配置は「総論賛成、各論反対」となってしまうため、まずは総論の理解を得ることが大切であり、受益者の意見だけでなく、市民全体の意見を反映する必要があるとのことでした。



菊池市議会議員研修会

■期日 令和5年11月9日
■場所 熊本県山都町、及び玉東町
■参加 菊池市議会議員15名
■内容 PFI事業を活用した賃貸住宅整備

本市では、TSMC等半導体関連企業の進出に伴い、住宅誘致に重点を置いて事業を展開していることから、山都町と玉東町の「PFI事業を活用した賃貸住宅整備」について、視察研修を行いました。それぞれの町では、PFI事業のメリットや概要、スケジュール等の説明を受け、現地でも賃貸住宅を見ながら思惑どおりに子育て世帯の入居はあっているか等、本市議員からの質問に、分かりやすく丁寧に答えていただきました。



玉東町(ゆめ・ステーション・このは)

どちらの町も山間地であり、人口減少

経済建設常任委員会 研修報告

■日程 令和5年11月14～16日

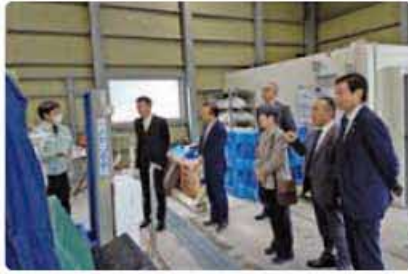
■場所 千葉県館山市、栃木県下野市ほか

【千葉県館山市】有害鳥獣の処理

館山市は、増え続けるイノシシの被害に悩まされており、捕獲頭数は本市の約1.6倍となっている。

令和3年12月に有害鳥獣の加工処理を行うジビエセンター、令和5年4月に有害鳥獣焼却処理施設の運用を開始されている。

ジビエ肉や加工用の皮の取引は、人口規模の大きい大消費地に近いことから、まずまずの成果が出ているとのことでした。



【栃木県下野市】スマート農業

トマトパークでは、高生産実現に必要ななる植物生理に基づく理論的な栽培管理、施設を使いこなす環境制御技術を実践し、

トマトの大玉日本品種の10aあたり目標収量は、一般的に15tと言われている中、ここでは70tも採れるそうです。
高収量を実現するためには、作物に出来るだけ多くの光を当てることが重要であり、温度、湿度、CO2濃度を光の濃度に合わせて最適化し、光合成を最大化するように統合環境制御が行われていました。



こうした環境データとともに、作物の生育調査をデータ化され、生育の変化に応じて、温度、湿度、給液管理等を調整したり、逆に環境の変化に応じて、葉の面積指数や、株の密度、果実数等を調整されています。

今回の研修は、有害鳥獣の加工処理施設、及び焼却処理施設、スマート農業に関する施設園芸等、様々な取り組みを学ぶことができましたが、参考となる点が多々あり、有意義な研修とすることができました。

と高齢化が進行する中、若者や子育て世帯の定住促進を目指し、様々な研究を行いながら、ハードルを乗り越え、現在、良好な運用が行われていることが分かりました。
また、建てられた住宅を現地で見ても、都会的で洗練された装いの山都町の住宅と、玉東町の高層マンションは、それぞれの見た目に驚かされました。



山都町の住宅 駐車場には、電気自動車用の充電設備が駐車スペースごとに備わっている。

また、若者や子育て世帯の定住促進に繋がっているとの結果も出ており、さらに驚かされました。
PFIを活用した事業は、大いに学ぶところがあった研修でした。

議会運営委員会 研修報告

■日程 令和6年1月30日～2月1日

■場所 山口県萩市、大阪府岸和田市

【山口県萩市】議会基本条例・議会改革

萩市議会では、議長を含む全議員で議会報告会実行委員会を立ち上げ、議会報告会を実施されている。

令和3年度は、コロナ禍であり対面ではなくオンラインでの実施、令和4年度以降は、対面とオンラインのハイブリッド方式で実施され、リアル(生)配信もされていました。

また、開催日の3週間前まで、市民からの事前質問を受け付け、報告会時に回答されているとのことでした。

議会改革の一つとして、令和2年10月にタブレットを導入し、議案等の閲覧やスケジュールの共有化を進め、議会DX化にも取り組まれていました。



【大阪府岸和田市】議会基本条例・政策研究会

岸和田市の議会基本条例の中には、市政に関する重要な施策についての共通認識を醸成するため、積極的に政策討論会を行うものとするとして定められている。

政策討論会は、各党派の幹事長で構成する代表者会議、月1回程度の分科会、年1回の全体会議といった3つの組織で運営されており、分科会自体は3つに分かれています。



最終的には、1年かけて各テーマについて協議・研究したものを提言書として執行部へ提出されていますが、一般質問等からの政策提言とは性質が異なり、この提言に対しては、執行部からの回答は求めないこととされています。

両市議会での取り組みには、参考となる点が多々あり、有意義な研修とすることができました。

菊池市議会・山鹿市 議会議員合同研修会

■期日 令和6年1月23日

■場所 菊池市役所3階大会議室

■参加 菊池市議会議員20名

■講師 兵庫県西脇市議会議員(前議長)

林 晴信 氏

■演題 『議会は住民自治のプラットフォーム』

今年度の本市議会議員研修会は、山鹿市議会と合同で行いました。

講演で林氏は、議会は住民自治のプラットフォームである。パソコンがWindows等のオペレーションシステムで動くように、住民自治にとって議会はなくてはならないもの。住民自治は、議会が根幹となって進展していく。乗る人も降りる人も行き交う土台です。皆さんの議会はそうなっていますか？と問いかけられながら、話を進められました。

西脇市議会には、平成20年に議員定数削減の陳情書が提出され、「定数削減の声は議会不信のしるしだ」として、議会改革特別委員会を設置し、議会基本条例の制

熊本県市議会議員研修会

■ 期日 令和6年1月9日

■ 場所 熊本市民会館

(シアーズホーム夢ホール)

■ 参加 菊池市議会議員18名

■ 講師 公益財団法人大阪観光局

理事長 溝畑 宏氏

■ 演題 『アフターコロナにおける地方創生』

↳ 地域活性化・観光振興で熊本を元気に

熊本県内の市議会議員の研修会が行われました。

講演で、溝畑先生は、熊本が持つポテンシャルは非常に高いとして、次の4点についてポイントを絞って説明されました。

①九州を支える大空

港構想について

東アジア・日本全

国とのヒト・モノ・

知の交流拡大が見

込まれるほか、観

光・防災拠点とし

ての九州全域への

貢献の重要性が高

まっている。



©2010熊本県くまモン

②シリコンアイランドについて

半導体を核とした産業創出拠点、世界に半導体を供給し続ける拠点、半導体の人材が集う拠点、出張族の観光への誘引

③SDGsを意識したツーリズムについて

阿蘇千年の草原を守り育てるための観光活用、熊本地震や熊本豪雨からの復興で得た教訓や過程からの学び等

④MICE施設（熊本城ホール）に隣接した最大級の桜町バスターミナルについて

九州各県・関西を結ぶバスが発着するハブ機能、宿泊の誘引について、イメージが湧きやすいように説明されました。

熊本地震（2016

年）や熊本豪雨（20

20年）からの復興

フェーズ、インバウン

ドの拡大やTSMC

の進出をフックに、熊

本のポジショニング

の確立、そして加速的

発展へのチャンスが

訪れているとの話を

されました。



定等の改革を進めてきたそうです。

議会活力

度ランキング

では、26

5位（H23

から1位（R

1）へ、議会

改革度ラン

キングでは、

圏外（H24

から1位（R1）となっています。

良き製品（プロダクツ）は、良い経営品質（プロセス）から生まれる。善き政策は、善い議会制度（プロセス）から生まれる。

議会改革＝経営品質であるとして、予算や決算審査の充実、住民とのコミュニケーション（議会と語ろう会・意見交換会・陳情・請願等）を図ることで、政策立案・提言に繋がっていくと、実例を挙げながらアドバイスをいただきました。

西脇市では、市民から議員定数を減らせという意見が減少し、報酬審議会から議員の政務活動費が少なすぎるのではないかとこの意見が出ているとのことであり、たくさんの方の学びを得た研修でした。



菊池市議会・山鹿市議会 合同議員研修会

熊本県市議会議員研修会

西米良菊池祭

■ 期日 令和5年12月1日

■ 場所 宮崎県西米良村大字村所

菊池公墓前

■ 参加 菊池市議会議長ほか議員5名

菊池市の姉妹都市である宮崎県西米良村において『第68回菊池祭』が開催されました。本市からは、水上議長、安武議員、大山議員、緒方議員、後藤議員、木下議員の6名と、副市長、教育長、文化協会の皆さんが参加しました。



菊池武夫公の墓前祭

菊池祭は、昭和15年に隈府町(現菊池市)住民からの強い要望により、町長として就任された菊池の町を治められた、菊池武夫公の墓前祭で、毎年、菊池武夫公の命日に合わせて行われています。

また、西米良温泉ゆた〜とでは、西米良村特産のほおずきを使った大きなモミの木のクリスマスツリーの点灯式が行われました。



ほおずきクリスマスツリー点灯式
(西米良温泉ゆた〜と)

村の人口に村の精霊『カリコボーズ』の1を加えた数の村民手作りのほおずき飾りが、鮮やかにクリスマスツリーを彩っていました。

※西米良村は、16世紀はじめに入山した菊池一族が、その後4百年にわたって統括したところで、その郷土を愛する「菊池精神」は今も村民に受け継がれています。

議長交際費を公表します

令和5年11月〜令和6年1月分は、左記のとおりです。

会費(公的性格を有する団体との協議会費および負担金)

6件 4万3000円

その他(他自治体への研修、および議長会等経費)

5件 5万9477円

合計

11件 10万2477円

議長交際費は、議長が市議会を代表して対外的な活動を行うために必要な経費として認められており、その支出にあたっては、社会通念上、妥当と思われる範囲内にとどめるよう努めています。

菊池南中学校3年生が 議会を傍聴しました。

■日時 令和5年12月7日10時～11時

菊池南中学校では、教育目標である『生きる力』を培い、未来を創造する生徒の育成のもと、学校と地域が協働で行う地域参加・地域貢献活動を推進されています。

今回、3年生の約150名を2つのグループに分けて、社会科「地方自治と私たち」の中で、地方自治がどのような仕組みで行われているのかを学習するため、実際に市議会の一般質問を傍聴して学習しました。



(感想)

- ・議員の皆さんが、小中高生や学校のことをしっかりと考えて議論されていて、とてもありがたかった。
- ・自分たちが議会に参加できなくても、恩恵を受け取り、また、取り組むことはできるので、私は何らかの形で市に関わっていききたい。
- ・議員さんの質問を深掘りして、どんなことをしていくべきか話し合っておられたので、菊池市は良い街になっていくなと思った。

議会傍聴を お待ちしております！

定例会は、原則として3月・6月・9月・12月に開かれ、行政に対する一般質問も行います。

日程や一般質問等の詳細は、議会事務局にお尋ねください。また、3階の議場の傍聴席は、バリアフリー対応となっておりますので、本庁1階のエレベーターで3階までお越しくください。皆さまのお越しをお待ちしております。なお、各支所でも生中継でご覧いただけます。



**3月定例会は2月16日(金)に
開会しました。**

※感染症対策などにより、入場に制限がある場合があります。

表紙について



こども健診センター



子育て世代包括支援センター「きくぴあ」

今回は、こども健診センターで行われた「1歳半健診」を紹介しました。

1歳半健診は、お子さんの心身の成長や健康状態を確認するだけでなく、運動発達、ことばや理解力等の精神発達といった観点からお子さんの成長を確認します。

また、お子さんの様子や生活習慣等、保護者が気になっていることを、医師や保健師、栄養士等に相談することができます。

育児について、周りに相談できる人がいない場合や、悩んでいることがあるときは、このような健診だけでなく、いつでも相談窓口をご活用ください。



令和6年 第1回
菊池市議会定例会日程の予定



月日	区分	日程
2月16日	本会議	開会・開議・会期の決定 議案上程・提案理由説明
2月22日	委員会 本会議	質疑・委員会付託 予算決算常任委員会
2月29日 2月26日	本会議	一般質問
3月4日 3月7日	委員会	常任委員会・予算決算分科会 (総務文教・福祉厚生・経済建設)
3月14日	委員会	予算決算常任委員会
3月19日	本会議	委員長報告・質疑・討論・採決 閉会

※この予定は、会期中に変更になる場合があります。

編集後記

いつも議会だよりをご覧いただきありがとうございます。

より分かりやすい、より開かれた議会だよりを目指して、広報委員会で視察と話し合いを重ねています。

今、議会だよりでは、一般質問を行った議員一人一人のページにQRコードを付けていますので、スマホをかざしていただければ、議会での一般質問の様子を見ることができるようになっています。

(過去の一般質問もご視聴いただけます。)

- 〆もっと市民に寄り添い
- 〆もっと分かりやすく
- 〆もっと読みたくなる

をモットーに、頑張ってください。皆さまのご意見をお待ちしています。

議会広報特別委員長 泉田 栄一朗

委員長 / 泉田 栄一朗 副委員長 / 大山 宝治
委員 / 本藤 潔 安武 睦夫 古田 浩敏 島 春代

■議会広報特別委員会■